



今回初の試みとなる「商工会カレッジバスケットボール観戦」を、12月3日（土）午後1時より George Washington 大学（以下、GWU）の Charles E. Smith Center にて開催し、23名の方に参加いただきました。

今回観戦いただいた方の中で14歳以下のお子様には、試合開始前の選手入場の際に、ハイファイブトンネルで選手を迎えていただきました。なお、GWUの日本人プレーヤーである3年生の渡邊雄太選手は、残念ながら怪我のため試合には参戦できず、ベンチでの応援となりました。

South Florida 大学（以下、USF）を迎えての試合は、試合開始早々、個人技で勝る USF に連続して点を取られ、9対19と10点差のビハインドとなりました。その後、22対35と最大13点の差をつけられてしまいましたが、ここから GWU による反撃が始まりました。GWU の1-3-1のゾーンディフェンスが奏功し、10ポイントを連続して獲得、32対35の3点差で前半を終了しました。



後半戦が開始された後は、一進一退のゲームが続きました。途中、GWU が本試合で初めてとなる逆転を果たし、1点勝ち越す場面がありました。その後、GWU が運動量の激しい1-3-1のゾーンディフェンスから2-3のディフェンスに変更してからは、USF 優勢で試合が進みました。ただ、GWU も粘りのあるプレーで喰らいついていき、僅差をキープし、65対67の2点ビハインドで、試合時間残り10秒を迎えました。最後のワンプレーとなる場面で、GWU の1年生の Collin Smith 選手が放った3ポイントシュートが残り3.5秒で入り、GWU は68対67で見事勝ち越して勝利をおさめました。最後の最後まで、緊迫した非常に盛り上がったゲームとなりました。



試合の前後や途中では GWU のマスコットであるジョージワシントン君が会場を歩き回り、お子様たちなどのファンと写真を撮っておりました。また試合の途中のタイムアウトの際には、電光掲示板に「Welcome Japan Commerce Association of Washington, DC」と、商工会が応援に来ていることに対する歓迎の言葉が表示されておりました。

本イベントは商工会の関係者の皆さまのご協力によって運営されております。おかげさまで無事イベントを終えることが出来ましたことを、改めまして関係者の皆さまに御礼申し上げます。

また、商工会のイベントの多くはは商工会会員でなくとも、会員のご紹介があれば、どなたでもお申し込み頂けます。その他のスポーツイベントを含めまして、来年も多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

以上